

# 取扱いについて

施工の前に必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

各種排水専用配管、洗濯機パン用フレキ

## エバフレキ

### ■施工・取扱いに関するご注意

**FJS型** **LJH型** **LJS型** **LFK型**

- ①一般家庭用洗濯機パン及び排水配管接続以外では使用しないでください。
- ②室内配管専用です。屋外では使用できません。
- ③排水専用につき、圧力配管には使用しないでください。
- ④製品に傷つける場合があるため、開梱の際、カッターナイフ等を使用しないでください。
- ⑤火気、高温、直射日光は避けてください。
- ⑥有機溶剤、酸、アルカリ等の薬品及び油が付着する恐れのある場所に保管しないでください。
- ⑦本製品が破損し、漏水する可能性があるため、保管中・施工中は本製品に衝撃を加えたり、重量物をのせたりしないでください。  
万一、破損した場合は、使用しないでください。
- ⑧最小曲げ半径以下に曲げてのご使用は、ホースの性能を低下させ、ホースの耐用期間を短くするため、最小曲げ半径以上でご使用ください。最小曲げ半径の目安は、ホース外径の3倍以上(※LJH型のみ1.5倍)としてください。P.52の芯ズレ幅・最小曲げ半径・最大曲げ角度の一覧表を参照してください。
- ⑨逆勾配にならないよう注意し、1/50以上の勾配を確保し、添え木等で適正な支持をしてください。
- ⑩釘等によりホースに傷つけないように注意してください。
- ⑪排水口からの鼠害(そがい)には充分留意してください。
- ⑫仕様の変更を予告なく行う場合がありますので、あらかじめご了承願います。

**FJS型** **LJS型**

- ⑬継手には直接ネジを切らないでください。また途中で切断し、使用しないでください。
- ⑭継手の材質に悪影響を及ぼす物質を塗ったり、接触させないでください。例えば、アセトン、シンナー、クレオソート、殺虫剤、シロアリ駆除剤等。
- ⑮接着剤は必ず清掃した管と継手との嵌合面の両面に薄く均一に塗布し、速やかに接合し、規定の時間、挿入力を保持してください。
- ⑯接着剤は、塩ビ管用接着剤を使用し、施工手順に記載の接着面を確保してください。

**LJH型**

- ⑰継手には直接ネジを切らないでください。また途中で切断し、使用しないでください。
- ⑱使用する接着剤等の有機溶剤を、ジャバラ部に付着させないでください。溶剤に侵され破断する場合があります。
- ⑲踏みつけや衝撃による破損を防ぐため、床を張る前の事前施工の場合は、本製品を接続後、床から支えを出すなどして、宙にうかせたまま放置しないでください。
- ⑳接着剤は塩ビ管用接着剤を使用し、施工手順に記載の接着面を確保してください。

**LFK型**

- ㉑取扱い上の注意事項は、JIS K6743:1999の12項に準じます。
- ㉒パッキン部及びナットのネジ部にシール剤を塗布しないでください。
- ㉓ナットを締める場合に工具を使わないでください。部品を破損して水漏れの原因になります。

### ■施工手順

**FJS型** <雑排水・汚水排水用 VU/VP-75/100接続用>

- ①エバフレキFJS型の両端に、付属のバンドを締め付けない状態で差し込んでおきます。
- ②排水配管の入口側・出口側、ならびにエバフレキFJS型の各々両側の接続部(VU/VP75用は50mm以上、VU/VP100用は70mm以上)に、接着剤をムラなく塗布し、速やかにしっかりと奥まで差し込み、付属のバンドを、エバフレキFJS型両端の嵌合部中央に位置し、管が変形しないように注意し、しっかりと締め付けます。
- ③接続用カットパイプを使用する場合も、同様の手順で施工願います。

**LJS型** <洗濯機パン横引き用 VU/VP-50接続用>

- ①トラップとの接続用カットパイプ(VP/VU50)を100mm以上の長さで用意します。
- ②エバフレキLJS型の両端に付属のバンドを締め付けない状態で差し込んでおきます。
- ③カットパイプ・エバフレキLJS型のそれぞれ両面の接続部(それぞれ40mm以上)に接着剤をムラなく塗布し、速やかにしっかりと奥まで差し込み、付属のバンドを嵌合部中央に位置し、管が変形しないように注意し、しっかりと締め付けます。
- ④同様の方法で排水側配管とエバフレキLJS型も接着し、管が変形しないように注意し、速やかにバンドを締め付けます。
- ⑤最後に、接着用パイプとトラップの接続部両面に接着剤を塗布し、しっかりと奥まで差し込みます。

**LJH型** <洗濯機パン横引き用 VU/VP-50接続用>

- ①排水側塩ビ管と、エバフレキLJH型の硬質ソケット部のそれぞれ両面の接続部(各々25mm)に接着剤をジャバラ部に付着しないようムラなく塗布し、速やかにしっかりと差し込みます。
- ②次にトラップ側接続部は40mm以上、エバフレキLJH型の差込部は管端より25mm程度に接着剤をジャバラ部に付着しないようムラなく塗布し、しっかりと差し込みます。
- ③施工後は24時間以上放置し、接着部が十分に乾いてから、使用してください。

**LFK型** <洗濯機パン縦引き用 VU/VP-50接続用>

- ①インナーに三角パッキンが均一に挿入されていることを確認してください。
- ②袋ナットを排水口ネジ部に締めすぎないよう手で確実にねじ込んでください。
- ③ホース下端を排水口に差し込み、防臭キャップの上側が床に密着するよう折り返してください。

### ■使用温度条件

**FJS型** **LJH型** **LJS型** **LFK型**

0°C~50°C

# 取扱いについて

施工の前に必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

一般排水用

## ハイサイホース

UH型

### ■使用前のご注意

- ①ハイサイホースUH型は排水専用です。圧力のかかる場所（給水およびバキューム）では使用できません。
- ②ホースは環境温度、排水中の含有物質により性能、耐久性に大きく影響を受けます。
- ③排水中に薬品、薬剤、アルカリ、油、塗料等が含まれている場合、ホースの材質硬化、膨張等の急速な変化が予想されるもの（P.53 耐薬品性データ参照）については、ご使用は避けてください。特に毒性の強い薬品、危険性の高い薬品（高濃度酸、高濃度アルカリ等）の場合は、絶対に使用しないでください。
- ④ホースは紫外線劣化により変色（黒色）、硬化、亀裂などが発生する場合があるため、屋外でのご使用はお控えください。

### ■使用時のご注意

- ①最小曲げ半径（ホース外径の3倍）以下に曲げてのご使用はホースの性能を低下させるため、最小曲げ半径以上でご使用ください。
- ②取り付け部品付近で極端に曲げて使用しないでください。破損の原因となります。
- ③ホースに衝撃を与えること、引き摺ったり、車両や重量物の下敷きにならないように注意してください。
- ④金属、コンクリートなどの固い物の角が当たる箇所及び、振動、屈曲等で他の物体と擦れる部分には、緩衝材、保護具等で保護し、ご使用ください。
- ⑤使用前には、必ずねじれや折れた箇所がないかご確認ください。
- ⑥ホースを引っ張って機械を移動したり、ホースを取り付けたままの状態で、機械や車体等を移動したりしないでください。
- ⑦ホースを鋭利なもので傷つけないでください（梱包開梱時含む）。破損の原因となります。
- ⑧配管時は、万一の場合に備えホースが破損しても、人体や周囲の設備（電気設備等）に影響が及ばないように配慮してください。
- ⑨鼠害（そがい）には十分留意してください。
- ⑩接着剤使用の際、接着剤を接着箇所以外の部分に付着させないでください。溶剤に侵され破断する場合があります。

### ■保管上のご注意

#### 〈使用前の保管〉

- ①直射日光が当たらない、湿度の低い冷暗所に保管してください。
- ②チリ、ゴミがホースに入らないよう両端にキャップなどを接してください。
- ③ホースを大量に積み上げたり、ホースの上に重量物を置かないでください。
- ④極端に曲げた状態で保管しないでください。折れた箇所がないかご確認ください。

#### 〈使用後の保管〉

- ①使用後は、内部の残留物を水洗い等で除去してください。
- ②直射日光が当たらない、風通しのよい場所に保管してください。

### ■点検・検査について

- ①日常使用前に外観検査（外傷、硬化、軟化、変色、変形など）を必ず実施してください。
- ②ホースの寿命は使用条件、環境などに大きく影響します。ご使用中は、必ず1ヶ月に1度定期点検を実施してください。
- ③日常点検、定期点検で次のような異常が認められた場合は、直ちに使用を中止し、新しいホースと交換してください。
  - 接続部品附近での異常…局部的な伸び、膨れ、湾曲、漏れ
  - 外傷の有無…外面のキズ、補強線の割れ、ひび割れ
  - ホースの異常…つぶれ、縮み、変色、変形、折れ、内面の膨れ、内面と外面の剥離
  - その他著しい劣化…硬化、膨潤、ひび割れなど

### ■使用温度条件

0°C~50°C

# エアコン 部材を 選ぶ

ドレンアップホース EDU型

P.23

断熱ドレンホース NDH型

P.27

断熱ドレンホース 接続バーツ NDH型・UDP型

P.29

断熱ドレンホース YDH型

P.31

ドレンホース TFD型・FD型

P.33

エアコン用関連バーツ

P.33

取扱いについて

P.37

